

# わたしばな

第15号

2020年

患|者|さ|ん|と|病|院|を| 結ぶ |情|報|誌



©表紙・挿し絵／  
長久手絵手紙ボランティア「わたぼうし」

## Contents

新型コロナウイルスに関連した肺炎について	1
専門医に聞く	2
診療科、部署 Topics	3
診療科、部署 Pick up	5
新人奮闘記	7
歯周病とからだの病気 ～歯周病が全身に及ぼす影響～	8
インフォメーション	9

## 愛知医科大学病院

〒480-1195 長久手市岩作雁又1番地1  
TEL:0561-62-3311 FAX:0561-63-3208  
<https://www.aichi-med-u.ac.jp/>

# 新型コロナウイルスに 関連した肺炎について



呼吸器・アレルギー内科  
部長

**伊藤 理**

## 新型コロナウイルス

2019年新型コロナウイルス感染症は、COVID-19（コビッド・ナインティーン）、単に新型コロナウイルス感染症とも呼ばれています。中国から始まってヨーロッパ、アメリカ、ブラジルなど世界中で流行し、2020年6月28日時点で全世界の感染者数が1000万人を超えました。この病気を引き起こす病原ウイルスが「新型コロナウイルス」です。ウイルスは細菌（バイキン）や真菌（カビ）とは別の微生物であり、インフルエンザウイルス、ヘルペスウイルス、麻疹（はしか）ウイルス、ノロウイルスなどがよく知られています。

## なぜ肺炎になるの？

ウイルスが人間の体に感染（侵入）する際、その「入り口」となる臓器はウイルスによって異なります。コロナウイルスの仲間には元々風邪を引き起こすウイルスですので、のど（上気道）や気管支（下気道）を好んで侵入してきます。具体的に説明しますと、新型コロナウイルスは呼吸器の細胞にあるACE2受容体という分子を目印として体内に侵入します。このACE受容体は腸にもありますから、ウイルスが口から腸に入ると腸からも侵入することができます。腸から感染した際には下痢などの症状を引き起こすこととなります。今回の2019年新型コロナウイルスはヒトに対する攻撃性が強く、通常型のコロナウイルスと比べて病状を悪化させる可能性があります。単なる風邪や気管支炎にとどまらず、肺炎（写真1）を起こすことが多いのはその影響です。新型コロナウイルスはこれまで人類が経験したことがない、新しい病原体です。そのため、このウイルスに対する抵抗力（免疫力）を持ち合わせておらず、肺炎を伴う大流行を引き起こしたと考えられます。ヒトからヒトへ感染する重要な伝染病ですので、保健所への届け出が義務付けられる「国の指定感染症」になっています。

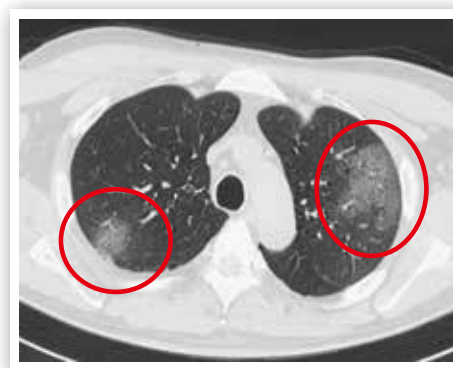
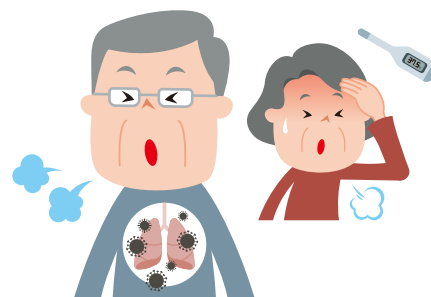
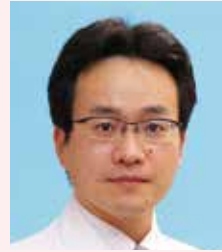


写真1 新型コロナウイルス感染症による肺炎の胸部CT像

## 治療と予防ワクチンは？

通常の肺炎は、飲み薬や点滴薬の「抗生物質（抗菌薬）」による治療がよく効きます。抗生物質は細菌を退治するための薬であり、ウイルスには効果がありません。「肺炎と診断した（された）けれど、抗生物質でも良くならない（悪化する）」場合、肺炎の原因が新型コロナウイルスかもしれません。新聞やテレビで報道されているように新型コロナウイルスに効果が期待される薬があり、現在日本を含む世界中で治療方法の確立に向けた準備が進められています。ウイルスによって引き起こされる病気に関しては、ワクチン（予防接種）によってそのウイルスに対する免疫力を獲得できれば感染と流行の予防につながります。新しい治療薬や予防ワクチンの開発が進んで、一日でも早く診療の現場で使えるようになることを切に願っています。





泌尿器科 部長  
佐々 直人

## 女性の排尿に関する悩みと泌尿器科

### 女性患者さんと泌尿器科のかかわり

泌尿器科と聞くと、男性が受診する診療科とイメージされます。その理由は、前立腺肥大症などの男性患者さんが多く、女性が受診するのは恥ずかしいとか、尿漏れは相談しにくいとか、女性医師が少ないので受診しづらいと推測されます。しかし、女性も毎日、排尿をします。むしろ女性のほうが排尿（おしっこをためること、すること）にまつわる悩みが多くて困っているってご存知でしたか？

### 女性の排尿にかかわる悩み

多くの女性が困っている排尿にまつわる症状は、尿失禁（尿漏れ）と頻尿です。骨盤の底、尿道の出口、肛門の周囲には、骨盤底筋という筋肉が何層も存在し、骨盤の底を支え、排尿と排便に機能しています。加齢や出産を契機に、この骨盤底筋の働きが弱くなり、多くの排尿の悩みを引き起こします。せきやくしゃみで尿が漏れてしまう腹圧性尿失禁、トイレが我慢できず、あわててトイレに駆け込む過活動膀胱、我慢できずに尿が漏れてしまう切迫性尿失禁、膣の出口から子宮や膀胱などがとびだしてしまう（陰部

に何かに触れる）骨盤臓器脱などです。過活動膀胱、尿失禁については、薬剤（抗コリン剤やβ3刺激剤）で、症状の緩和が可能です。尿漏れパッドをしてこられた患者さんが、泌尿器科で適切な治療をお受けいただくとパッドがいらず、笑顔で運動ができます。バス旅行も困りません。ある調査によると40歳以上の男女のうち、過活動膀胱（尿意切迫感や夜間頻尿、尿失禁といった症状）でお困りの方が7人に1人いるとされています。

### 女性の悩みに対する愛知医科大学病院泌尿器科のかかわり、技術の進歩

それでも、薬物治療では、症状の改善が得られない患者さんがおみえです。手術による治療を必要とすることがあります。ここ数年、女性がお困りの症状に対する手術が保険適応となりました。骨盤臓器脱に対しては、ロボット支援仙骨脛固定術（2020年4月保険承認）（図1）により弱くなった骨盤底筋をメッシュ（脱出を防ぐ網のようなもの）にて補強することで、脱出をほぼ治癒できます。ロボット「ダ・ヴィンチXi」（写真1）を使用した確実な手術です。

また、薬物治療では治すことが難しい過活動膀胱や切迫性尿失禁には、ボツリヌス（ボトックス®）毒素膀胱壁内注射療法（2020年4月保険承認）（図2）や仙骨神経刺激療法（2017年9月保険承認）（図3）により笑顔を取り戻せる患者さんが増えております。我々泌尿器科医が、やりがいのある生活の質（QOL）を保つ治療です。毎日の排尿にまつわる悩みを解決しませんか？ぜひ、我々、泌尿器科にご相談ください。

膀胱鏡の挿入と施注



図2 ボツリヌス（ボトックス®）毒素膀胱壁内注射療法



図3 仙骨神経刺激療法

図1 ロボット支援仙骨脛固定術



写真1  
ダ・ヴィンチXi



# がん看護外来について

看護部 がん性疼痛看護認定看護師 主任 近藤 美樹

## 1 がん看護外来のご紹介

がんは「約2人に1人がかかる病気」であり、とても身近な病気といわれています。しかし、ご自身や、大切な方が「がん」と診断された時の心の衝撃は大きく、これから始まる治療の中で、治療の選択や生活、仕事、お金など様々な心配や、病気を抱えながら生活や人生を送る上で、難しい選択に迫られることもあると思います。

当院ではがん看護を専門とする認定看護師(写真1)が、患者さんやご家族の困りごとや心配ごとに対し、一緒に考え、問題の解決ができるようなお手伝いをさせていただく「がん看護外来」を開設しました。

がん看護外来では、「自分らしい治療の選択や療養生活を送ることができるような支援」を目指しています。

## 2 ご利用いただける方や受診方法について

当院に入院中又は外来通院をされているがん患者さんやそのご家族がご利用いただけます。がん看護外来は完全予約制です。受診を希望される方は、14 総合相談室(がん相談支援センター)(中央棟1階)の窓口へお越しください。担当者がお話を伺い調整させていただきます。



がん看護外来の認定看護師(写真1)

### 当院のがん看護外来認定看護師

- ・がん性疼痛看護認定看護師 3名
- ・がん化学療法看護認定看護師 2名
- ・乳がん看護認定看護師 1名
- ・緩和ケア認定看護師 1名



面談風景

## 相談内容の例

がんと言われてこれからどうしていけばいいかわからない

どのように治療方針や治療方法を選べばいいかわからない

化学療法の副作用がつかなくて治療を続ける自信がない

アドバンス・ケア・プランニングって?

脱毛や見た目の変化が心配

緩和ケアについて相談したい

体や心のつらい症状に困っている

患者さんやご家族の、治療や生活に関する困りごと、心配なことなど何でも相談いただけます。お1人で悩まず、がん看護外来にお越しください。

# 看護師の特定行為研修がスタートしました！

副院長・看護部長 井上 里恵

## 1 特定行為研修とは

2015年10月に「特定行為に係る看護師の研修制度」が創設されました。この制度は、保健師助産師看護師法に位置付けられ、研修を修了した看護師は手順書により特定行為を行うことができ、未来の医療を支える研修制度として期待されています。

特定行為は看護師が法律に則って医師の指示のもとに行う「診療の補助」であり、38項目の行為が定められています。2020年2月現在、当院を含む191機関が特定行為研修を運営している特定行為研修指定機関として認められています。国では10万人の育成を目指していますが、修了生は2000人弱であり、まだまだ少ない現状です。

## 2 研修の内容

2020年4月21日に開講式を執り行いました。特定行為研修は、共通科目と区分別科目に分かれます。初年度の研修生は20名で、クリティカルケア領域の研修プログラムに沿って、e-ランニング講義、演習、修了テスト、臨床能力試験（OSCE）、病院実習等を進めます。



e-ラーニングでの講義



演習風景

医師をはじめ診療看護師(※1)などが11カ月にわたり指導にあたります。病院で働きながら研修を受けるため、研修生のサポートは看護キャリア支援室で行っています。(図1)

※1 診療看護師 (Nurse Practitioner: NP) とは大学院の修士課程において、医学の知識と初期医療に関する実践を修了した看護師です。

図1 2020年度 愛知医科大学病院特定行為研修履修科目

共通科目	臨床病態生理学
	臨床推論
	フィジカルアセスメント
	臨床薬理学
	疾病・臨床病態概論
区分別科目	医療安全学
	特定行為実践
	+
	気道確保に係るもの
	人工呼吸療法に係るもの
動脈血液ガス分析関連	
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	
術後疼痛管理関連	
循環動態に係る薬剤投与関連	
長期呼吸療法に係るもの	

## 3 特定行為研修を修了すると何がかわるのでしょうか

看護師が行う業務は、保健師助産師看護師法で「診療の補助業務」および「療養上の世話」と定められています。

診療の補助業務は、医師の指示のもとに行っています。医師は、外来診療、手術、検査等を並行して行っており、患者さんに必要な治療をタイムリーに行えないことがあります。入院や外来で医師が忙しく、待たされた経験はありませんか？

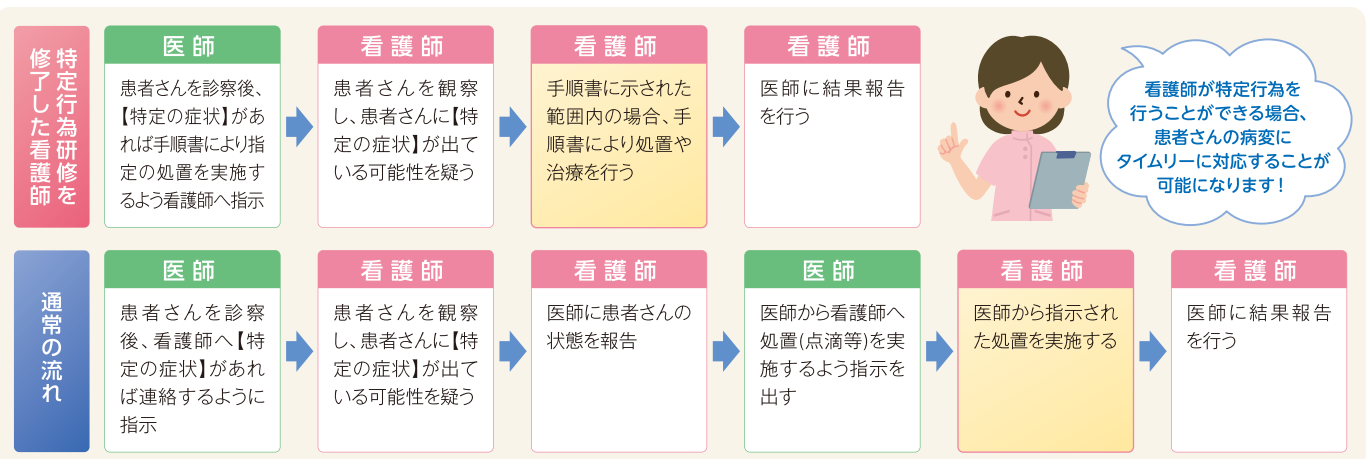
特定行為研修を修了した看護師は、医師とあらかじめ治療方針の確認を行い、患者さんの状態を見極め、手順書によってタイムリーに特定行為を実施することができるようになります。このため、患者さんを待たせずスムーズに必要な治療を受けられるメリットがあります。(図2)

## 4 当院が目指していること

患者さんに安心して医療を受けていただくために、医師、看護師をはじめとした医療チームで日々対応しています。特定行為研修を修了した看護師が患者さんの状態に合わせ、必要な医療行為をタイムリーに行うことで、より安心で満足いただける医療を目指しています。また看護師は、高度かつ専門的な知識と技能を身につけることができます。

急性期医療から在宅医療を支える看護師を育成することは、大学病院としての役割です。2021年度から院外から研修生を受け入れる準備を進めています。

図2 特定行為実施の流れ



## 生活の質を守る耳鼻咽喉科

耳鼻咽喉科 部長 藤本 保志

### 耳鼻咽喉科の役割

耳鼻咽喉科はとても幅広い疾患を対象とします。嗅覚、視覚、聴覚、味覚、触覚に直接影響し、さらには安全に呼吸すること、食事を美味しく食べて栄養をとること、会話のために発声し、言葉をつくることについても深く関わります。これらの障害を未然にふせぐ、治療する、克服する、折り合いをつける、など様々な角度からアプローチする仕事です。

当科では難聴やめまい、副鼻腔炎、嚥下障害や音声障害について専門的な診療を行っています。今回は頭頸部癌治療について紹介します。

### 頭頸部癌とは

頭頸部癌とは鼻腔、副鼻腔などの鼻の癌、舌癌などの口腔癌、扁桃腺や舌の付け根にできる中咽頭癌、声帯のまわりの喉頭癌や下咽頭癌などの総称です。それぞれが小さな臓器ですがどれも精緻な構造をもち、癌によって声を失ったり、食事ができなくなるおそれがあります。

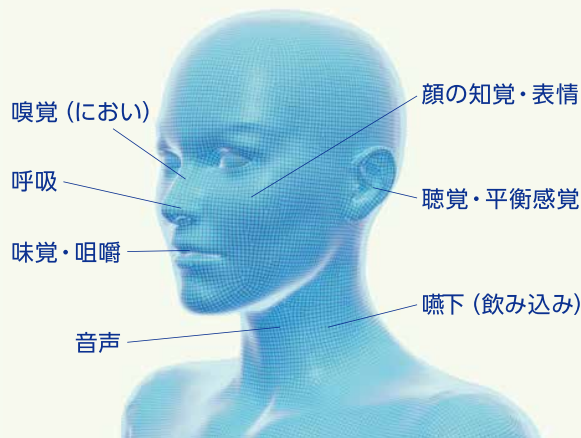
### 標準治療を大切に

機能を大切に治療しなければ著しい生活の質の低下をきたします。障害を最低限にするために治療には大きな3つの柱（放射線治療、薬物療法、手術）があります。当科では薬物療法併用の放射線治療についても世界標準の治療を安全に行い、臓器温存につとめています。



頭蓋底手術前の3科（耳鼻咽喉科、脳神経外科、形成外科）合同シミュレーション。  
手術手順をパーソナルコンピューターを用いた3Dバーチャルシステムを用いて行います。

### 頭頸部のさまざまな機能



耳鼻咽喉科・頭頸部外科領域には多くの大切なたらしめがあります。

### より良く治す—低侵襲手術と機能改善手術

当科では“よりよく治す”ことを目指して2つの方向性を大切にしています。

1つは**低侵襲手術**です。近年の画像診断の進歩をもとにした必要十分な切除を行い、身体への負担を軽減します。かつては喉頭を全摘していた段階の喉頭癌や下咽頭癌においても声を温存できる例が増えています。さらに、内視鏡を用いた縮小手術も導入し、成績をあげています。

もう一つは**機能改善手術**です。特に嚥下機能改善と音声改善について力を入れています。頭頸部癌だけでなく肺癌や食道癌などによって声がかすれたり、食事ができなくなったとき、いろいろな機能改善手術によって機能を回復・改善するお手伝いをしています。声を完全に失ったあとも、あきらめずに発声できる方法も紹介しています。

### 頭蓋底悪性腫瘍の根治

頭蓋底とは顔面・頭部の最深部位で、頭蓋骨の中心部で脳を下から支える部分です。耳や鼻の癌はしばしばこの部位に関わり、その治療には非常に高い専門性を要します。当科では脳神経外科・形成外科とのチームが確立しており、独自に開発した3次元シミュレーション（手術の予行演習）を用いて安全性を向上させています。

当科では障害にきちんと向き合うことを大切にしています。口やのど、くびのしこりや痛みが心配なときは遠慮せずご相談ください。

## 安全かつ安心できる高度な検査・治療を提供 診療放射線技師は医療被ばくの低減に努めています

中央放射線部 技師長 **中村 勝**

### 診療放射線技師の仕事

中央放射線部は中央診療部門の1つであり、診療放射線技師62名と医療技術補助員1名が、放射線科をはじめとする各診療科医師、看護師、臨床工学技士、事務職員等と協働・連携して、高度かつ安全で安心できる医療の提供に努めています。

診療放射線技師は、画像診断センター、血管内治療センター、核医学センター、放射線治療センター、高度救命救急センター、手術室、病室などで、エックス線写真の撮影をはじめ、CT検査、MRI検査、マンモグラフィ検査、アイソトープ検査、放射線治療、IVR(血管内治療)などを行っています。また、これらの検査の多くは放射線を使用しますので、患者さんの被ばくをできるだけ少なくすることも診療放射線技師の大事な役割です。ここで、放射線の量をあまり少なくしすぎると、骨折があっても写らなくなったり、病気を見逃してしまう事が生じますので、できるだけ少ない放射線量で、かつ診断に必要な情報がしっかり得られる画像を撮影し、医師に提供することが重要です。



今年度入職した診療放射線技師

### 医療被ばく低減への取り組み

当院は、2019年8月1日付けで、公益社団法人日本診療放射線技師会から「医療被ばく低減施設」に認定されました。この認定は、患者さんの被ばく線量を把握し、放射線装置の管理を行い、適切に医療被ばくの低減に取り組んでいるかを書類審査と訪問審査で第三者機関が評価するものです。当院では、「診断参考レベル(全国統一の患者被ばく線量の指標)」と比較をしても、それより少ない被ばく線量で検査を実施しています。



医療被ばく低減施設認定証

### 患者さん、地域の皆さまへ

放射線検査は、僅かな放射線被ばくを伴いますが、病気の発見や治療方針の決定、治療効果判定など、検査によって得られる情報が、放射線被ばくによるリスクより十分に大きいと医師が判断した場合に行います。放射線検査により身体の状態を調べ、その結果に基づいて診断・治療を行うための必要不可欠な検査であることをご理解ください。

診療放射線技師は、これからも医療被ばくの低減を推進し、患者さんに安全な医療を提供していきますので、安心して放射線診療を受けてください。医療被ばくに関するご相談も **13** 画像診断センター受付(中央棟1階)にて対応させていただきます。

／ よろしくお願ひします！！ ／

# 新 | 人 | 奮 | 闘 | 記



※左から 孫医師、宮良医師、盛岡医師

## 丁寧な医療をずっと忘れずに心がけたい

卒後臨床研修センター 臨床研修医

**孫 汀** (2019年度入職)

**宮良 沙織** (2020年度入職)

**盛岡 拓哉** (2020年度入職)

### 臨床研修医の仕事

「研修医」という言葉はよく聞きますが、どのような存在なのかご存じのない方もいらっしゃるかと思いますので、簡単に説明します。医師は、保険診療をおこなう場合、医師免許を取得した後に厚生労働省指定の臨床研修病院で2年間の臨床研修を行うことが義務づけられています。「研修医」と言われる2年間です。医師として駆け出しの期間であり、この2年間で医師としての人格を養うこと、将来専門とする分野にかかわらず、頻繁に起こる症状や疾患に対しての初期対応ができる能力を身に着けることが求められています。

2020年度は64名の研修医（医科研修医59名・歯科研修医5名）が当院に勤務しており、上記のような能力を身に着けるために様々な部署を回って学んでいます。私たち3人は現在、救命救急科で研修しています。

### 苦労したこと

国家試験では、試験問題に患



研修医同士でのエコー練習の様子

者さんの症状や状態が記載してあり、いくつかの選択肢から正解を導くのですが、実際の医療では患者さんの症状も状態も刻々と変化します。患者さんの変化を見逃さずに、短時間での確な診断と治療を行う必要のある医療現場では、毎日自分の課題が見つかり、一つ一つ克服していくことに大きなプレッシャーがありました。また、少しでも早く医療に貢献したいという思いから、早朝の勉強会や勤務時間終了後の自習に力を入れて、睡眠時間の確保がうまくできず、自己管理が疎かになりそうな時もありましたが、指導医がそんな私たち研修医の変化を毎日見守り、本当によく指導してくださっているおかげで、様々な難題を乗り越え成長することができています。

### 嬉しかったこと・今後の目標

先日救急車で来院された患者さんの診察時に、できる限り丁寧に問診と身体診察をおこなったことが、疾患の早期発見につながり、患者さんから「ありがとう」と声をかけていただいた時は本当に嬉しかったです。医師として診察に慣れてきても、患者さんの声を聞き、丁寧な診療を心がけることは忘れずにいたいです。患者さんのためにも、課題を一人で抱えこまずに、指導医や看護師・メディカルスタッフに積極的に相談して学んでいきたいと思っています。来年も救命救急科研修の期間がありますので、その時にはさらに地域の救急医療に貢献することを目標に邁進します。



指導医との写真



## 歯周病とからだの病気 ~歯周病が全身に及ぼす影響~



### 歯周病の原因

歯科衛生士 主任 加藤 典子

お口の中には、約700種類の細菌が存在し、歯垢1グラムの中にはおよそ1000億もの常在細菌が生息しているといわれています。

これらの細菌によって歯周病やむし歯が発症し、歯を失う原因として知られています。歯周病は、近年になって命に関わる全身の様々な病気との関連がわかってきました。



### 誤嚥性肺炎と歯周病

高齢者の死亡原因として、もっとも多いのが肺炎です。その中でも多くを占めているのが食べ物や唾液が誤って肺に入って起こる誤嚥性肺炎です。これも歯周病菌が大きな原因となっています。口の中を清潔にし、歯周病を予防することが、肺炎を防ぎ、命を救うことにもつながります。

### 糖尿病と歯周病

免疫抵抗力が低下して、歯周病に感染しやすく、歯周病の炎症物質が、インスリンの血糖値コントロールの働きを妨げ、糖尿病を悪化させることがあります。糖尿病の方が歯周治療を受けると、歯周組織の炎症が改善することでインスリンが働きやすい状態になり、血糖コントロールが改善する可能と報告されています。

このほか、 ● 認知症 ● 骨粗しょう症 ● 感染性心内膜炎 ● 肥満 (メタボリックシンドローム)  
● 脳梗塞 ● 脳出血 ● 虚血性心疾患 ● 早産・低体重児出産 など

歯周病と関連しているといわれています。

### 歯周病のセルフチェックをしてみましょう!



- 朝起きたとき、口の中がネバネバする。
- ブラッシング時に出血する。
- 歯が長くなったような気がする。
- 口臭が気になる。
- 歯肉がむずがゆい、痛い。
- 歯肉が赤く腫れている。
- かたい物が噛みにくい。
- 歯が出っ歯になったり、歯と歯の間にすき間ができた。

**3つ以上は要注意です。**

歯周病が進行している可能性があります。早めの歯科受診をおすすめします。

### お口の中を清潔に保つためには、まずは歯ブラシの当て方に注意しましょう!

#### Point1

汚れがつきやすいポイント

- 歯と歯茎の境目
- 歯と歯の間
- 奥歯のかみ合わせ

#### Point2

歯ブラシだけでは60%くらいしか汚れが取れないので、特に、歯と歯の間は歯間ブラシやフロスを使いましょう。



#### Point3

入れ歯も、食後は外して清掃し、就寝中は入れ歯洗浄剤での清掃をおすすめします。



一生自分の歯で、おいしく食事をするためにも食後の歯みがきをおこない、お口の中に症状がなくても、かかりつけ歯科で定期的な診察を受けましょう!





## 輸血機能評価認定(I&A)

### 安全な輸血のために

当院は、日本輸血・細胞治療学会が実施する輸血機能評価認定(I&A)を2019年4月1日付で取得しました。現在、輸血療法に関しては、厚生労働省によって「適正輸血療法の指針」、「血液製剤保管管理マニュアル」、「自己血輸血：採血および保管管理マニュアル」などさまざまなマニュアルが策定され、これらマニュアルを遵守し、安全な輸血療法が実施されています。しかし、これらの指針などは輸血療法の基本的な考え、運用であり、強制するものではなく、各医療機関の実情に適合した管理とされ、各医療機関の自主性に任されています。全ての輸血療法が安全かつ適切に実施されるには、輸血管理について第三者によ

る検証が必要です。I&Aは、inspection(点検)とaccreditation(認証)するシステムで、第三者による輸血管理評価システムです。輸血療法に関する多くの事項について審査され、認定基準を満たせば、I&A制度認定施設となります。

I&A制度認定施設は、「安全な輸血」のための輸血部門、責任医師、輸血療法委員会、輸血検査、製剤保管など輸血療法全ての分野において基準を満たしている施設といえます。

当院では、I&A認定を礎とし、今後、より安全で有効な輸血療法を維持し続けることを目指していきたいと考えております。



## イベント中止のご案内

### 2020年度(第3回)オープンホスピタルの中止について

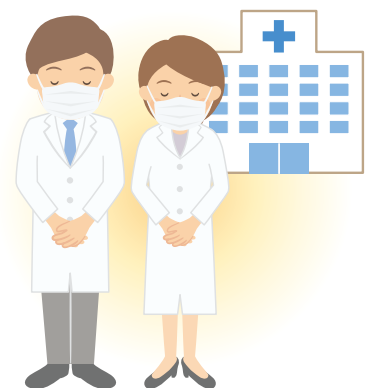
オープンホスピタルはお陰様で過去2回とも1000人以上の方にご来場いただき大盛況のイベントとなりました。

しかしながら今年度につきましては、現在の新型コロナウイルス感染症による情勢を鑑み、中止とさせていただきます。

オープンホスピタルを楽しみに

してくださっている方々には申し訳ありませんが、ご理解ご協力いただきますようお願いいたします。

来年度以降、開催が可能な情勢に落ち着きましたら改めてご案内をさせていただきます。





## 寄付の御礼

### 当院への寄付の御礼

新型コロナウイルス感染拡大を受けて、令和2年4月10日、愛知県は県独自の緊急事態宣言を出し、その後4月16日には、国の緊急事態宣言に基づく特定警戒都道府県に指定されました。

当院でもこれまで経験をしたことがない事態に対して、対策本部を設置し、病院入口での検

温を始め、診療体制や設備の整備など、日々奮闘してまいりました。

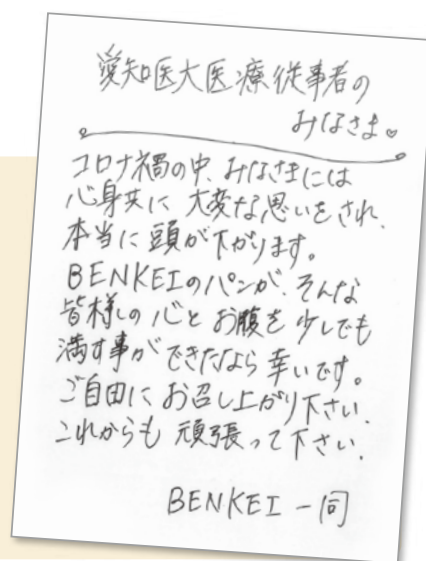
そんな中、多くの企業や一般の方々から「新型コロナウイルス感染症と戦う医療従事者を応援したい」とマスクやフェイスシールド、食料品などをご寄付賜りました。

また、たくさんの心温まるメッセージも頂き、皆様の応援のお気持ちが病院職員の励みとなりました。

ご寄付を頂いた皆様からのご厚意に深く感謝申し上げます。



長久手市で人気のパン屋さんであるBENKEI様からは、この非常事態の期間に何度もパンのご寄付があり、夜間に働く医師や看護師でいただきました。



## 来院される皆様へ

### 新型コロナウイルス感染防止対策へのご協力をお願い

当院では、新型コロナウイルス感染拡大状況に応じて、付き添い人数の制限や入院患者さんへの面会制限などの感染防止対策を実

施しておりますので、来院される前には当院のホームページでご確認いただきますようお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症に関連する情報は、当面の間、トップページの「重要なお知らせ」に掲載いたします。ご理解ご協力をお願いいたします。



# 教育・研究・診療の基盤整備のため 募金 へのご協力をお願いいたします



## 募金一口の金額

個人…………… 10,000円  
法人・団体…………… 50,000円

## 免税の取り扱い

本学は、所得税の税額控除が適用される対象法人としての証明を受けております。

皆様のご寄付を活用して、教育環境の更新・充実に一層取り組みます。



インターネットからでも寄付ができます



愛知医大 募金 検索



資料送付等お気軽にお問合せください

お問い合わせ先

愛知医科大学 資金・出納室

TEL 0561-63-1062(直通) E-mail: sikin@aichi-med-u.ac.jp

## 愛知医科大学病院の理念と基本方針

### 理念

特定機能病院として、診療・教育・研究のすべての領域において、医療を基盤とした社会貢献を目指す

- 社会の信頼に応えうる医療機関
- 人間性豊かな医療人を育成できる教育機関
- 新しい医療の開発と社会還元が可能な研究機関

### 基本方針

- 人間性を尊重した患者中心の医療の提供
- 信頼関係を大切に安全で良質な医療の実践
- 豊かな人間性と優れた医療技術を持った医療人の育成
- 先進的医療技術の開発・導入・実践の推進
- 災害・救急医療への積極的な取り組み
- 地域医療連携の推進及び地域医療への貢献

## 2020年9月から2021年1月までにおける 祝日開院のお知らせ

下記の祝日は通常診療いたします

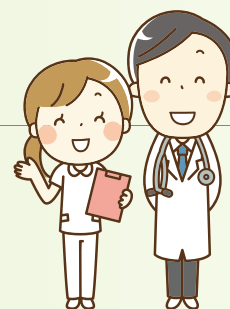
■ 9月21日 月・祝 敬老の日

■ 9月22日 火・祝 秋分の日

■ 11月23日 月・祝 勤労感謝の日

■ 1月11日 月・祝 成人の日

※上記以外の祝日については休診となります。



### 編集後記

コロナ禍の夏が過ぎ、秋を迎えました。当院は地域の基幹病院として、新型コロナウイルス感染防止対策に取り組んでおり、感染流行状況に応じ外来の往来や面会の制限を設けております。ご不自由をおかけすることも少なくないと思いますが、御協力の程よろしくお願い申し上げます。本号では、新型コロナウイルス肺炎をはじめとするトピックスや、当院の最新の取り組みを紹介させて頂きました。是非、ご覧ください。

秋から冬にかけて新型コロナウイルスに加え、インフルエンザの流行も懸念されます。手洗いやマスク着用といった感染対策と、規則正しい生活で体力、免疫力を保って風邪の季節を乗り切りましょう。

病院広報委員会広報誌部会長 森 直治

